



知基第290号
令和2年2月17日

外務省特命全権大使（沖縄担当）
川村 裕 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



米海軍F/A-18戦闘攻撃機の部品落下事故について（抗議）

令和2年2月12日、米海軍F/A-18戦闘攻撃機の給油カバーが落下する事故が発生しました。

今回の事故は、県民への人的・物的な被害は報告されておりませんが、相次ぐ米軍航空機事故は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に、平穏な日常生活や生命に対する不安を与えるものであり、極めて遺憾であります。

特に、米海軍機については、去る1月25日に発生したMH-60ヘリコプターの事故から一月も経っておらず、米軍の安全管理体制に疑念を抱かざるを得ません。

また、米軍は、事故発生当日に給油カバーが落下したことを確認していたにもかかわらず、翌日の夕刻まで県への通報がありませんでした。所属がどこであるかにかかわらず、地元自治体へ迅速な情報提供が行われるべきであります。

県としては、今回の事故の発生及び通報の遅れに強く抗議し、徹底した事故原因の究明、落下場所など事故の状況について説明を求めるとともに、このような事故を再び発生させないよう、実効性のある再発防止策と今後の安全管理の徹底について万全を期すこと及び事故発生時の迅速な通報を米軍に対して働きかけるよう強く要請します。